

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 豊橋市立高山学園

保護者等数(児童数) 39人 回収数 36人 割合 92%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35		1		・とても広くて良いです。 ・自然も多く四季も楽しんでよい環境だと思う。 ・遊戯室や感覚の部屋があって子どもは楽しみに通っています。	・法令を遵守したスペースを確保しています。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	31		2	3	・うちの子には十分だと思う。 ・子どもへの関わりが上手くほとんどぐずれることなく通っており助かります。 ・フリーの先生方が入ってくださるので行き届い ・ほとんどの先生方が忙しい中でも会った時には挨拶してくれますが、目が合っても無表情で頭を下げて挨拶しなかったりすることがありました。	・法令で必要とされる配置基準以上に職員を配置しています。 ・研修会への参加や事例検討、全体での勉強会やクラスでの話し合いを行い、専門性を高める努力をします。 ・保育士の所作について一度見直し、意識を高めていきます。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34				2	・子どもとしては分かりやすいと思う。 ・偏食があっても子どもに合った形で食べられる方法を考えてくれるので有難い。	・視覚的支援やレイアウトの見直しなど、専門職の助言を基に子どもに合った環境設定をしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	34		1		1	・きちんと掃除されている。 ・先生方が合間合間にほうきで掃いてくれています。	・清潔や衛生面に十分に配慮をし、また子ども達が安心して過ごせる空間を作るように工夫しています。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	35		1		・できないことも理解した上で伸ばそうとしてくれている。	・引き続き、保護者と十分に話し合いを行い計画を作成します。	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32		1		3	・サポートの方法と一緒に考えてくれる。	・具体的な支援内容を設定するようにしています。 ・児童発達支援ガイドラインを基に、必要な支援を適切に設定しています。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	35		1			・こちらの希望も入れてくれる。 ・子どもの成長していく姿を見ると支援がいきっていると感じます。	・引き続き、きめ細かな支援を行っていきます。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30		1		5	・毎日の活動が月予定表で提示していただくと様子が伝わるとおもいます。 ・夏は水遊びがあり、冬は光の部屋など季節を感じる事ができる。 ・無理をさせず対応してくれる。 ・色々な経験をさせてくれます。	・保護者の方に療育内容を発信できるような方法を検討していきます。 ・プログラムの見直しは随時行っています。 ・子ども達がやりたいと思える遊びを工夫していきます。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	32	2		2	・交流内容の情報が薄い。	・新型コロナウイルスが5類となり、交流の方法を保育園と相談を重ね、園庭だけでなく室内交流を行ったり、交流時間も伸ばしたりしています。 ・交流の意図や子どもの様子など発信していきますようにします。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36				・納得のいく説明である。	・入園時及び年度始めに丁寧に説明をしています。今後は、利用料に変更がある時などに速やかに説明していきます。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	34			2	・個々に細かく対応してくれる。	・引き続き、わかりやすく説明しています。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	29	5		2	・情報共有ができています。 ・サポートブック研修で子どもの特性を伝える方法を学んで、実際にサポートブックを作る支援をしてもらいました。 ・ペアレントトレーニングを強制するのではなく、希望する人で行うとよい。	・講話、グループワーク、サポートブック研修会などを実施しています。職員がペアレントトレーニングの勉強に取り組んでいます。より良い実施内容や方法を検討していきます。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	35	1			・親身になって考えてくれたり、子どものことを頻繁に教えていただけるので感謝しています。 ・その日の出来事を丁寧に連絡帳で教えてくれるので嬉しいです。 ・分かりやすく説明してくれている。	・連絡帳を活用しながら、毎日の様子を伝えます。 ・必要時には、直接お話する機会を設けていきます。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	1			・小さなことでも電話をしてくれて助かっています。 ・個別遊びの時などに先生と色々話せています。 ・個別遊びの時など話しやすい機会が定期的にある。	・いつでも相談できる体制を整えています。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	31	3			1	・保護者会やグループ懇談会、施設見学会などを計画していきました。保護者同士の交流や情報共有ができるよう、引き続き保護者会と連携を図っていきます。	・保護者会やグループ懇談会、施設見学会などを計画していきました。保護者同士の交流や情報共有ができるよう、引き続き保護者会と連携を図っていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	34	1				・担任以外にも情報共有できている。 ・個別遊びや療育参観で相談させていただくと、すぐにアドバイスや助言を下さり助かっています。	・児童発達支援管理責任者、相談支援専門員、各クラスの担任等、話しやすい職員に相談してください。様々な職員と一緒に考えていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	1			・間が多く一人の職員に聞くだけで済むことが少ない。	・速やかな返事ができるように心掛けます。 ・子どもの特性を把握した上での対応方法などを職員間で情報共有し、適切な支援が行えるように努力します。	

保護者への説明等	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	3	3	・話を聞けるタイミングを作ってくれていると思う。	・園だよりやクラスだよりは、写真等を取り入れて子ども達の様子が伝わるように工夫しています。 ・療育の記録として子どもの遊びや生活の様子が分かるように写真などを使って玄関に掲示していますのでご覧ください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	33	1	1		・情報を持ち出さないように配慮するとともに、守秘義務を遵守しています。 ・引き続き保護者の方の了解を得た上で、関係機関と情報共有を行っていきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	31	2	2		・各種マニュアルを作成し訓練を実施しています。反省をもとに見直しをしていきます。 ・危機管理マニュアルを策定し安全に園生活を送れるように努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34		1	・災害時の備蓄食料を用意する機会を通じて、保護者も災害について考えられる。	・避難訓練は毎月行っています。給食やおやつ時に、災害時に想定される紙皿等を使用する経験もしていきます。 ・備蓄について、保護者の協力を得て、個別の物を学園で保管させていただき取り組みを引き続き行っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	34		1	・先生方のおかげで楽しく通えておりありがたいです。 ・先生も優しくイベントも飽きない様子です。 ・「行きたくない」と言うことなく楽しく登園しています。 ・入園時より成長を感じます。 ・楽しみにしている姿を見て安心して通所させることができます。	・楽しく通園できるように職員一同努力を続けていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	35			・子どもだけでなく、母の変化にも気づいて声かけや配慮してくれて助かっています。 ・丁寧に見ていただいています。親の参加行事が多く有難いのですが、共働きだと時間の調整が難しいかもしれません。 ・視覚支援や環境整備など学ぶことが多いです。まごと遊ぼうデーなど親族へ障がい理解を深める取り組みが良いです。 ・近代的システムを入ると良い。 ・運動会で一人一人名前を呼んでくれてみんなゴールできるようにサポートとしてくれて嬉しかった。	・子どもも保護者も職員も笑顔で毎日を送れるような学園づくりを目指します。 ・より良いシステムの導入については検討していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。